

景気動向指数  
平成 22 年 12 月分（速報）の概要

12月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：101.4、一致指数：103.1、遅行指数：89.1となった。（注）

先行指数は、前月と比較して0.8ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.87ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.27ポイント上昇し、3ヶ月振りの上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.34ポイント上昇し、4ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.16ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して1.3ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.34ポイント上昇し、8ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.63ポイント上昇し、12ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。

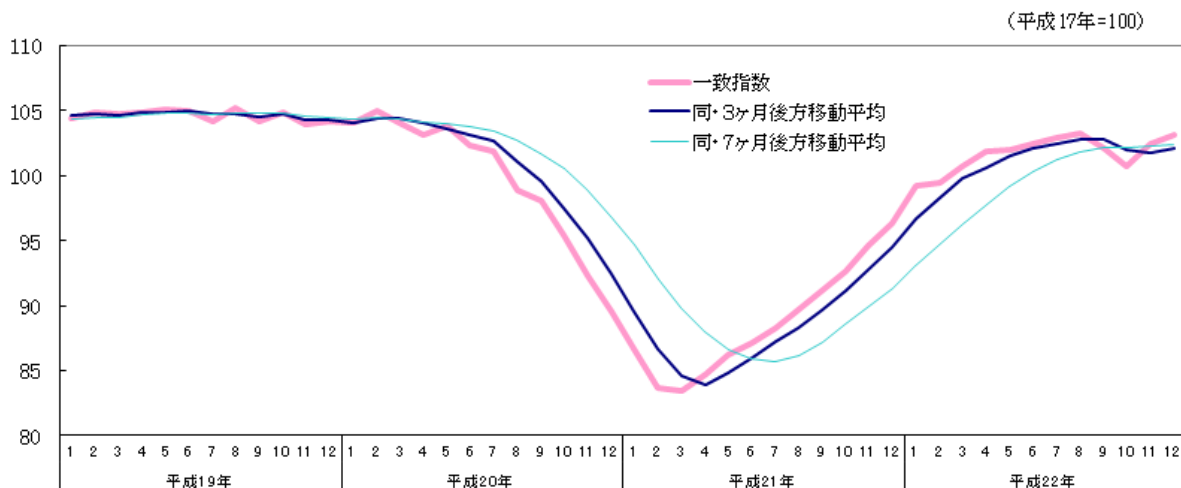
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.40	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.31
C1：生産指数(鉱工業)	0.36	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.15
C5：所定外労働時間指数(製造業)	0.24	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.05
C10：中小企業売上高(製造業)	0.13		
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.07		
C3：大口電力使用量	0.06		
C9：営業利益(全産業)	0.02	C4：稼働率指数(製造業)	-0.00

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では未公表であるため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



(注) 未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。